

令和 8 年度 「総合的な探究の時間」 シラバス

群馬県立前橋清陵高等学校 通信制

必修・選択	単位数	期間	学科・コース等	学年
必修	4	通年	普通科・衛生看護科	卒業年次 (来年度の前期卒業予定者を含む)
教科書（出版社）			教材等（学習書等）	
なし			なし	
開講時間数	必要面接時間数	テストの有無		レポート提出回数
7（水 53）+ 2	4	なし		4 回（前期に 2 回まで提出）

○「総合的な探究の時間」の学習目標

探究の見方・考え方を働かせ、各自の興味や関心に基づく課題を総合的に学習することを通して、自己の在り方や生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成することを目指す。

○学習内容の概要

- 1) 学習課題と学習計画の検討をします。
- 2) 「学習課題・学習計画報告書 1」（第 1 回レポート）を提出します。
- 3) 設定した課題について、各自で情報収集などを行います
- 4) 「前半の学習のまとめ」（第 2 回レポート）を提出します。
- 5) 「学習課題・学習計画報告書 2」（第 3 回レポート）を提出します。
- 6) 設定した課題について、各自で情報収集や創作活動を行います。
- 7) これまでに集めた情報を整理・分析したり、創作物を完成させたりして、「作品」としてまとめます。
- 8) 完成作品の提出と「学習のまとめ」（第 4 回レポート）を提出します。
- 9) 年度末の「総合的な探究の時間」作品展示発表会で、成果を発表したり、他の作品を見学したりすることができます。

○「総合的な探究の時間」担当者からのメッセージ・・・（学習の態度・心構え）

学習する課題は基本的に自由ですが、自分の進路希望や興味・関心に基づいて設定してください。設定した課題について、各自で情報収集し、整理・分析することで作品を完成させてください。1 ページに「学習の進め方」、2 ページに「学習テーマの例」がありますので、参考にして下さい。

◎学習計画

・スクーリング

回	月	日	曜日	学習事項	学習の内容・ねらい	レポートとの対応
1	4	26	日	学習の進め方	課題を設定し、学習計画を立案する。	
2	5	13	水	同上	同上	【第 1 回】
3	6	7	日	中間報告 1	資料の収集・整理・分析を行う。	
4	7	8	水	前半のまとめ	前半のまとめをする。	【第 2 回】

5	10	18	日	中間報告 2	新たな課題を設定する。	
6	11	15	日	後半のまとめ	後半のまとめをする。	【第 3 回】
7	12	16	水	学習のまとめ	作品を提出し、学習の振り返りを行う。	【第 4 回】
8 9	1	17	日	作品展示発表会	作品の発表や見学をする。	

【注意】

- (1) 1 月 17 日の「作品展示発表会」に出席した場合、「総合的な探究の時間」または「特別活動」のいずれかの時数をカウントします（最大 2 時間分）。ただし、1 月 17 日は混雑が予想されるほか、当日遅刻・欠席したことで卒業ができなくなってしまうなどのトラブルが発生しているので、12 月 16 日までに行われる 7 回のスクーリングで 4 回以上出席できるように計画を立ててください。
- (2) 放送視聴を希望する場合は、事前に担当者に申し出てください。スクーリング 1 時間分まで減免することができます。

・レポート提出締切

締切	レポート回数	月	日	曜日
締切日①	1	5	20	水
締切日④	2	8	26	水
締切日⑥	3	11	25	水
締切日⑧	4	1	20	水

※前期卒業予定生は、第 4 回提出期限 8 月 26 日

※ 2 回分以上のレポートをまとめて提出したり、レポートの可否を確認する前に次のレポートを出したりすることはできません。

○レポートについて

- (1) 第 1 回レポート：課題を設定し、学習計画を立てます。
- (2) 第 2 回レポート：ここまでに調べたことや考察をまとめます。
- (3) 第 3 回レポート：第 2 回レポートをふまえて、次の課題を設定します。
- (4) 第 4 回レポート：完成作品を提出し、これまでの学習を振り返ります。

○評価について

- (1) 評価の観点および内容（評価規準）

評価の観点および内容（評価規準）	
知識・技能	・課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身につけ、それらを効果的に活用している。
思考・判断・表現	・実社会や実生活と自分の関わりから、自分で課題を見つけ、作品や報告書に学習の成果や自分の考えをわかりやすく表現している。
主体的に学習に取り組む態度	・主体的に探究に取り組み、よりよい社会を実現していく態度を養っている。

- (2) 評価方法と評定

- ・スクーリングの出席状況（最低出席時間 4 時間）、提出したレポートの内容（提出回数 4 回）、および完成した作品の提出と、その作品の内容やまとめ方の状況などを、総合的に評価する。